

老人クラブ会員の方へ

平成25年8月

発行 広島県警察本部
交通部交通企画課

高齢者の死亡交通事故増加

～構成率は最悪のペースで推移～

(平成25年6月末現在)

- 高齢者の交通事故死者数→**31人(前年同期比+4人)**
- 交通事故死者数に占める高齢死者の割合(構成率)→**55.4%**

《特徴》

- ・31人中25人(80.6%)が**75歳以上の高齢者**
- ・歩行中の12人中8人(66.7%)が**夜間被害**で、**全員反射材用品等の活用なし**
- ・四輪乗車中の11人中6人(54.5%)が**シートベルト非着用**

反射材用品等の活用を！

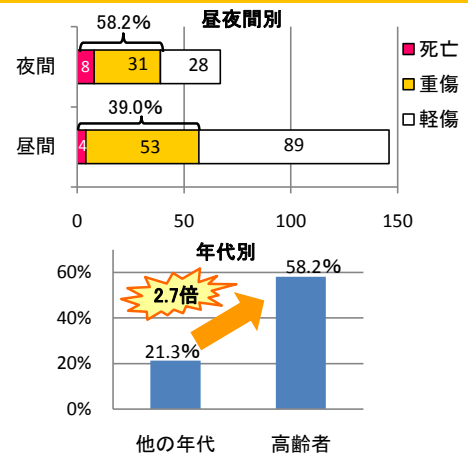


夜間、歩行中に交通事故で死傷した高齢者の**重大事故(死亡・重傷)率は58.2%**と、**昼間と比べ高い。**

また、**他の年代に比べ2.7倍と極めて高い。**

夜間は、車のドライバーから歩行者が見えにくくなり、危険度が増します。

外出する際は、反射材やLEDライトを活用し、自分の存在を一早く知らせましょう。



全席シートベルト着用の徹底を！



四輪乗用中に交通事故で死亡・重傷となった高齢者の**28.0%**がシートベルト非着用(他の年代の**1.9倍**)で、死者にあっては**54.5%**がシートベルト非着用(他の年代の**3.3倍**)

四輪乗用中のシートベルト非着用高齢者の致死率は、シートベルト着用高齢者の**約9倍**

シートベルト非着用者がシートベルトを着用していたら、**6割以上**が怪我を軽減できた可能性あり

シートベルトはあなたの命を守ります。
車を運転するときのみならず、助手席や後部席に同乗するときも、必ずシートベルトを着用しましょう。

※ 本資料は、平成25年6月末の交通事故統計を基に作成しています。